

追悼 名誉会員 Edgar C. Bain 博士

本会名誉会員 Edgar Collins Bain₂博士は1971年11月27日米国 Pennsylvania の自宅で逝去されました。ここに同氏のご冥福を祈り、謹しんで哀悼の意を表します。



博士は 1891 年 9 月 14 日米国に生れ、1912 年 Ohio State Univ. を卒業、United States Bureau of Standards, Wisconsin Univ. を経て、1919 年 General Electric 社に入社、鋼の結晶構造の X 線による研究に従事、この方面の開拓者として活躍し世界的な評価をうけた。1924 年 Union Carbide and Carbon 社に入社鉄-クロム、鉄-クロム-ニッケル系合金の研究を行なつたのち、1928 年 United States Steel 社に新設された研究所に入社、Assistant to Vice President を経、1943 年 Carnegie Illinois Steel 社 (現

U. S. Steel 社) の Vice-President (研究技術担当) に就任、その後同社が U. S. Steel 社に合併後も引続き同職にありさらに 1956~57 年 Assistant Executive Vice President of Operation を歴任、1957 年に

(副社長補佐)
(研究・技術担当副社長)
(生産担当専任副社長)

第一線を引退した。博士の 40 年にも及ぶ研究活動の中で、U. S. Steel 社研究所で行なつたオーステナイトの恒温変態に関する研究は“Bainite 組織”という名前とともに有名であり、恒温変態図に要約される鋼の熱処理に関する研究成果は現在この分野における学問のすべての基礎となつている輝やかな業績である。

博士は 1956 年、1958 年の 2 回技術交流のために来日されており、特に 1958 年には本会のために「アメリカにおける冶金学研究の最近の進歩」と題する特別講演をされている。

博士の幾多の優れた業績に対しては、米国はもちろん英、仏など世界各国の学会からそれぞれ最高の賞を授与されている。本会でも 1958 年に名誉会員に推挙したほか、日本金属学会賞ならびに明治百年記念外人功労者叙勲に際しては勲三等瑞宝章を授けられている。